

# 中学生の「税についての作文」

〔全国納税貯蓄組合連合会 会長賞〕

〔日高地方租税教育推進協議会 優秀賞〕

(敬称略)

## 暮らしと税

### 日高中学校3年

#### 松原 実由



私の曾祖母は、今九十六歳で、ひとり暮らしをしています。「いったい生活費はどのようにしてまかなっているんだろう」と、私は疑問を持ちました。高齢なので、自分で働いてかせぐことはできないし、収入源はないはず。そこで私は、祖母にたずねてみることにしました。

祖母によると、生活に必要な

お金は、年金でまかなっているのだといいます。いわゆる、年金暮らしということですね。私は、年金には、税金が使われているというのを知っていました。そこで、曾祖母の暮らしを支える税金について興味をもち、調べてみることにしました。

年金は、社会保障という公的サービスであることが分かりました。社会保障は、税金の使い道のなかで、一番多く使われています。私は、社会保障には、年金以外にどのようなサービスがあるのだろうかと思ひ、更に調べてみました。

社会保障には、医療や介護、福祉などのサービスがあります。介護や福祉のサービスは、私にはまだ必要ありませんが、曾祖母の場合、このサービスも利用しています。また、医療という

面では、私も税金に助けられていることになりません。病院でかかるお金の一部には、税金が使われていると分かって、税金は、色んな形で私たちの役に立っているのだと感じました。

他にも、道路や下水道などの整備、私たちが通っている学校にも、税金は使われています。私は中学生ですが、公立学校の児童、一人あたりの年間教育費の負担額は、中学生だと九十四万七千五百八十一円にもなるそうです。約九十五万円もかかっていたなんて、私はとてもおどろきました。今まで、税のおかげで学校で勉強ができたのだと、税がすごくありがたく感じます。

私は、私の曾祖母は年金暮らしをしているうえに、介護や福祉などのサービスを利用して、たくさんの方面で税金に助けられています。しかし、詳しく調べてみると、税金にたくさん助けられているのは曾祖母だけでは

なく、私の暮らしにも、税金に助けられていることはたくさんあることが分かりました。もしも税金がなかったら、と考えると、私たちの社会や暮らしは、とても不便になると思います。税金は、私たちの社会と暮らしを支える、とても大切なものだと感じました。

これからは、税金の大切さを忘れず、曾祖母のような高齢者の役に立つためにも、納税の義務を果たし、社会貢献ができるような大人になりたいと思います。



〔和歌山県納税貯蓄組合総連合会 会長賞〕  
〔公益社団法人御坊納税協会 優秀賞〕

(敬称略)

『税』は『命』

日高中学校3年

北垣 輝



までぼく達の生活が苦しくならなければならぬのかをずっと思っていました。でも、税金のことがわかってくると、本当に大切なことなんだと理解することができました。

税金は、ぼく達の安心した暮らしのためには必ず必要なものだったのです。いろいろな公共サービスを行うために必要な費用は、ぼくがいやがっていた税金によってまかなわれていたのです。生活保護、医療保険、年金制度、老人福祉、介護、少子化対策、失業保険のような社会保障にとってもかかわっています。ぼくはまだ子供だから、社会保障のほとんどを理解できません。

消費税がとうとう八パーセントに引きあげられました。五パーセントでも大きいと思っていたのに、八パーセントになってしまったて買い物にもかなりの影響が出ると思っていました。計算もしにくいし、品物の値段はすごく高くなった感じはするし、ほしい物をすぐ買うことができなくなりました。でも、もうすぐ十パーセントに上がってしまふと聞いています。なぜここ

でも、祖父や祖母がいるので、後の安定した生活や健康で文化的な生活をするためには、税金は必要なものだと思いました。老後は必ずだれにでもやってきます。その時あわてても

きつとおそいのです。社会保障の費用は増えているのに、その費用を負担する働き手が減っています。その働き手にぼく達が必要なのはならないのです。そのため今一生懸命勉強して、将来きちんと税金をおさめることのできる大人になりたいと思います。

ぼく達が大人になった時には、もしかしたらもっと消費税があがっていて、おさめるいろいろな税金も高くなっているかもしれません。一人で何人もの老人をみなければならぬ時代がもうそこにきています。その上その費用が少なかったら、ぼく達自身の老後はないかもしれません。

そんなことになるかもしれない状態とも知らずに、消費税があがっただけでいやな気持ちになっただけことがはずかしいです。ぼく達にとつて身近な『税』はまだ消費税だけです。その消費税が今以上にあがっても、それは自分達の生活にもどつてく

るんだと思つてきちんと支払いたいと思います。

社会保障以外にも、学校の施設の費用にも税金が使われています。だから今ぼく達は安心して学校生活を送っていられるのです。病気になつても、ケガをしても、なおすことができるのは、みんながおさめている税のおかげなのです。

自分を守るために、家族を守るためにどれだけ『税』が大切であるかということをもっとと理解し、今まで『税』をおさめてくれてぼく達の生活を守ってくれた人達のように、ぼくもなりたいです。

『税』はぼくの命、国の命なのです。

これらの作文は、御坊税務署、公益社団法人御坊納税協会および日高納税貯蓄組合連合会共催による平成26年度中学生の「税」についての作文において、応募総数2147点の中から入賞された作文です。